

病虫害発生速報

令和8年8月6日
第4号

対象作物：野菜花き共通

発信元 山形県病虫害防除所
TEL 023-644-4241(内陸)
0235-78-3115(庄内)

**題名：シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、オオタバコガの
誘殺数が急増！圃場の見回りを強化し、初期防除を徹底！**

1 発生概況

- (1) フェロモントラップ（山形市、寒河江市、鶴岡市、酒田市：以下PT）におけるシロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、オオタバコガの誘殺数は、7月6半旬～8月1半旬にかけていずれも急増している（図1、2、3）。
- (2) 8月前半の巡回調査（8月3～5日）の結果、ねぎでシロイチモジヨトウの食害、きくでオオタバコガの寄生が確認されている（図4、5、6）。
- (3) 向こう1か月の気温は高いと予報されており、今後も増殖や活動が活発になることが見込まれ、被害の増加が懸念される。

2 防除対策

- (1) いずれも広食性で、野菜、花き等の多くの作物を加害するため、周辺作物を含めてよく観察する。
- (2) 圃場をよく見回り早期発見に努め、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウの卵塊（図7）や幼虫の寄生が見られる葉及びオオタバコガの被害部位（果実、花蕾、新芽等）は取り除き、適切に処分する。
- (3) 幼虫の齢期が進むにつれ防除効果が低下するため、若齢幼虫時に速やかに薬剤を散布する。既に中齢から老齢の幼虫が見られる圃場では、特にチョウ目に効果の高い薬剤を選定する（「山形県病虫害防除基準」参照）。
- (4) 薬剤散布後も圃場をよく見回り、被害の拡大が見られる場合には、異なる系統の薬剤を散布する。
- (5) 株全体に薬液を付着させるため、作物ごとの生育状況に応じて十分な量の薬液をていねいに散布する。
- (6) 今後も台風や低気圧の通過に伴い多飛来することが予想されるので、通過後も注意深く圃場を見回るとともに、発生予察情報等により発生動向の把握に努める。

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準（適用作物、収穫前使用日数、使用回数等）を遵守するとともに、隣接地や周辺作物へ飛散しないよう十分留意し、農薬の使用後は防除日誌の記帳を行う。

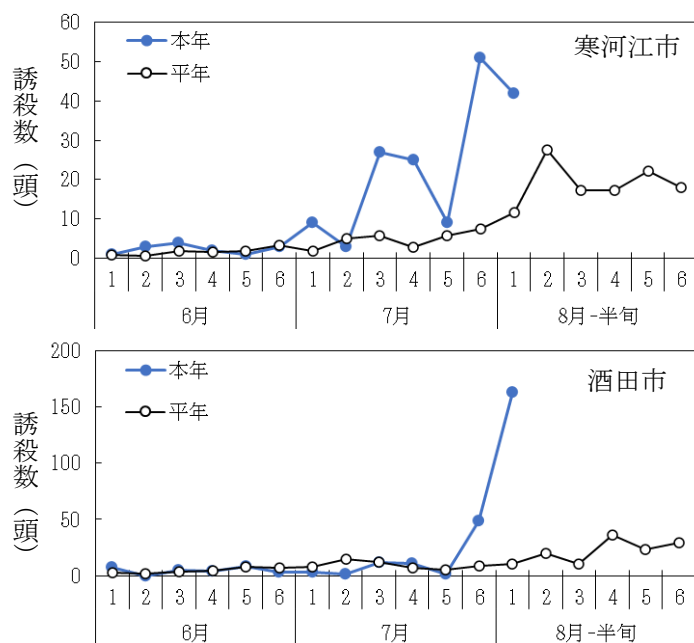


図1 PTにおけるシロイチモジヨトウの誘殺推移

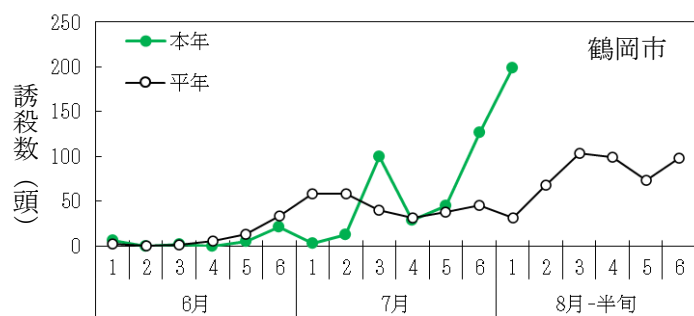


図2 PTにおけるハスモンヨトウの誘殺推移

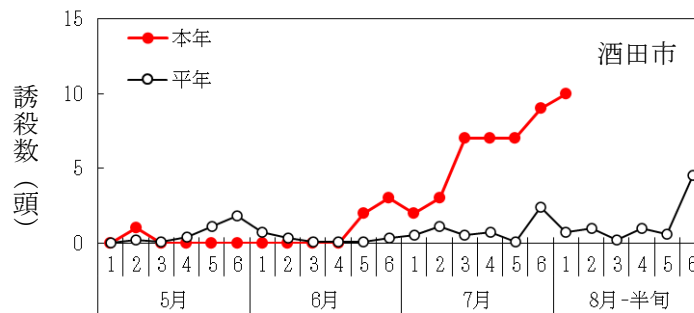
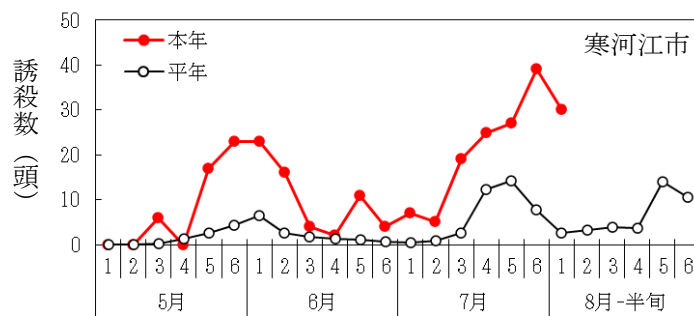


図3 PTにおけるオオタバコガの誘殺推移



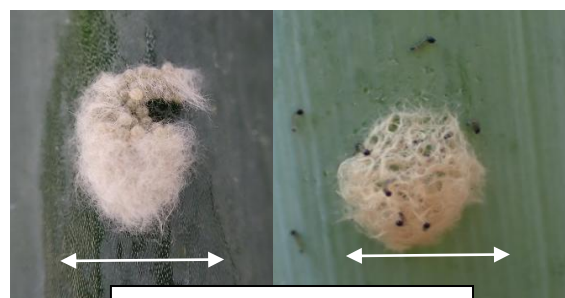
図4 シロイチモジヨトウによるねぎの被害



図5 ねぎの葉身に食入しているシロイチモジヨトウ幼虫



図6 きくに寄生するオオタバコガ



いずれも直径1cm程度

図7 卵塊

(左: シロイチモジヨトウ、右: ハスモンヨトウ)